

○ロータリー型搾乳ロボットの導入と合わせて、それらの効果を十分に発揮するための、新たなパーラー牛舎を導入するとともに、パーラー牛舎への距離と牛群の特性に応じて、牧場内の飼養場所を組み替えることで、搾乳作業の効率化や牛群移動の負担軽減・効率化を図る。

経営上の課題

- ・1,000頭を超えるいわゆるギガ・ファームであるが、労働力の定着不足や従業員の高齢化による人手不足等の構造的な課題を抱えている。
- ・新規採用による増員は経済環境や立地から困難。

現在の従業員数を前提として、スマート農業技術を活用し、生産性を確保していく必要

申請者：

株式会社コスモアグリ（北海道大樹町）

対象品目：

生乳

スマート農業技術：

ロータリー型搾乳ロボット

新たな生産方式：

ロータリー型搾乳ロボットの導入に適したフリーストール牛舎併設パーラー舎の導入と飼養方法の変更

活用予定の支援措置：

日本政策金融公庫の長期低利融資

計画の概要

スマート農業技術

【現行】ロータリーパーラー



- ・搾乳作業に人手が必要
- ・手動のため作業負担大

ロータリー型搾乳ロボット



搾乳作業の自動化
疾病牛を検知

課題

- ・既存のパーラー舎では、直径の大きいロータリー型搾乳ロボットは導入困難
- ・搾乳前後の牛の導線の確保も困難

新たな生産方式

ロータリー型搾乳ロボットの導入に適したフリーストール牛舎併設パーラー舎の導入



- ・搾乳ロボットで検知した疾病牛の隔離スペースを設置することで牛の動線を整備し、搾乳作業を効率化
- ・産褥期^{さんじょくき}、高泌乳等の牛群の特性に応じて、牧場内の飼養場所を組み替えることで、牛群の移動負担を軽減・誘導作業を効率化